



同窓会報
第11号

阜城

大阪教育大学
附属池田中学校阜城会
発行者 松本淳一郎(2期)
題字 豊田千代(2期)
〒563-0026
大阪府池田市緑丘1-5-1
☎072-761-8690
FAX 072-762-1104
URL http://kojokai.com

立とうとしています。この期の生徒達とともにここへ着任した私にとって、感慨深いものがあります。日頃の皆さまのご支援に感謝申し上げます。阜城会員の皆さまが、各方面で活躍されている様子を拝見し、総会の席で皆さんから



阜城会は「絆」
学校長 山川正信

64期生が間もなく巣立とうとしています。この期の生徒達とともにここへ着任した私にとって、感慨深いものがあります。日頃の皆さまのご支援に感謝申し上げます。阜城会員の皆さまが、各方面で活躍されている様子を拝見し、総会の席で皆さんから

舎は耐震工事に伴って改修された部分もありますが、多くの教室は昔のままで、生徒達にとっては、古く、狭く、使い勝手の悪い状況にあります。またグラウンドのバックネットもその一つではないでしょうか。しかし、老朽化が酷く、付け替えることになりました。また一つ皆さまの思い出をなくしてしまふ申し訳なさを感ずつつ、春に野球部員達の喜ぶ顔を楽しみにしています。3・11の津波は多くの命

ばかりではなく、多くの思い出の品や建物を一瞬のうちにのみ込んでしまいました。しかし、心に残ったものは簡単には消えません。また、その後改めて人と人のつながり「絆」の大切さを多くの人が再認識しました。今春には卒業生も1万人を超えますが、阜城会にはまさにこの附属池田中学で過ごした人達の絆であります。絆がますます強固になることを願っています。

お祈り申し上げます。

＜総会第2部の講演は末広真樹子さん(12期)＞ 笑いあり、涙あり、一人の女性の感動の生きざま 「エンジョイ、人生♡」

会場 ウェスティンホテル大阪

今年の総会は2の期幹事会が担当し、昨年と場所を変えてウェスティンホテル大阪で開催します。

恩師、先輩、後輩の「絆」の大切さを感じられる総会にしたいと思います。松村直行先生、直原宏明先生、山内篤先生、山内啓子先生、石田晶大先生、樋口正美先生、篠原(松田)洋子先生、田中龍三先生、辻本(灰本)好孝先生、仲田建一先生、杉山伸一先生(附中への赴任順)、校長先生、副校長先生と多くの恩師から、ご出席の予定を頂いています。ぜひ懐かしい先生方を囲んで楽しい時間をお過ごし下さい。

2の期(2, 12, 22, 32, 42, 52, 62期)の皆さん、多数参加して大いに総会を盛り上げましょう。着席ビュッフェ形式で昼食を用意します。ビール・ソフトドリンクは飲み放題。(6面につづく)

平成24年度 阜城会総会のご案内

日時: 平成24年4月22日(日曜日) 午後12時～15時

会場: ウェスティンホテル大阪 4階 花梨の間

大阪市北区大淀中1-1-20 TEL 06-6440-1111 (代表)

会次第: 第1部 阜城会 総会

第2部 講演会&パーティー

ゲスト 末広真樹子さん(12期)

画家、エッセイスト、「天むす・すえひろ」経営等
多彩な分野で大活躍。元参議院議員

司会 辻(川村)康子さん(22期)

フリーテレビディレクター(テレビ大阪、ABC等で
主に報道番組を担当)

総会参加費: 6000円(大学生、高校生は2000円、新入会員は無料)

賛助金: (一口1000円)と一緒に同封の払込取扱票にて最寄りの郵便局から3月末日までにお申込み、ご送金下さい。

※事前のお申し込みがなくても、直接会場にお越し頂いての飛び入り参加も大歓迎です。



阜城会員の皆様方には、
益々ご健勝で活躍のこと



ご挨拶
阜城会会長 松本 淳一郎

とお慶び申し上げます。
4月の年次総会の日が近づいてまいりました。今年は2の期の会員が総会の懇親会を運営することになっており、別掲のとおり、4月22日に、梅田のウェスティンホテルで開催されます。多数の方々のご参加をお願い申し上げます。
阜城会には本年64期生160名を新会員として迎えることになりましたが、附中の卒業生数は1万15名となり、1万名の大会を超えることとなります。
我々の同窓会が皆さまのご協力により益々有意義なものになっていくことを心から願っております。
昨年は東京阜城会が創立30周年を迎えました。首都圏在任者が増える中で、昭和57年(一九八二年)に発足した東京阜城会が歴代会長や運営に尽力して下さる方々のご努力により、毎年欠かさず総会を開催され、関東在住の会員の相互の親睦に貢献していただいています。東西近く便利になっています。身近に集まる場があることは素晴らしいことであり、東京阜城会が大いに発展していくことを期待しております。
皆さまのご健勝を心よりお祈り申し上げます。



1 加藤恵美子先生

卒業生の授業 「先輩の授業を受けよう」10回目

ー学校・PTA・阜城会のコラボレーションー

読みかけ
ボランティア

2 池田多喜子先生

子どもたちは今年も「どんな授業があるのかな。」「この先輩の授業を受けよう。」「どんな人かな。どんなお話かな。」とワクワクしながら待っていました。その思いに添えてくださった16講座17名の講師の皆さま、協力いただいたPTAや教職員、阜城会理事の皆さま、本当に有難うございました。



超える「売り込み007」！



3 高津 和彦先生



2 小出美智子先生

………
10回目となったこの授業の目的は左の通りです。
①子どもたちに素晴らしい体験をさせたい。
池田附中の宝物はヒト。その宝物から気質や人生観を学んでほしい。
②子どもたちの自分探しの機会にしたい。
附中での学習や生活を見つめ直し、自分の特性

平成23年度 「先輩の授業を受けよう！」講師・テーマ一覧

講座番号	講師(敬称略)	期	講師肩書き等	授業テーマ
1	加藤恵美子	4	元音楽教師	還暦からの海外語学ステイ〜3回目 移民発祥の地「ボストン」の体験と失敗談〜
2	池田多喜子 小出美智子	5 10	読みかけボランティア おはなしひろば「ぐりとぐら」所属	絵本の読みかけ 一心をたがやしてくれる楽しい世界ー
3	高津 和彦	19	スピーチトレーナー	超える「売り込み007」！ ー考えて、話さなきゃできないぞー
4	小林 修	20	地方独立行政法人大阪市立工業研究所 生物・生活材料研究部微生物制御研究室長	微生物とよい「お付き合い」をしていますか？
5	丹羽 伸也	24	岐阜県精神保健福祉センター所長 岐阜県知的障害者更生相談所長 精神科医	災害時のメンタルヘルス
6	玉川 俊哉	24	玉川清流工房（自営業）	インターネット広告をつくってみよう！
7	味春 夏夫	24	㈱ GENUSION デバイス技術部長	IT社会を支える半導体技術への誘い ーコンピュータ、LSIの中身ってどうなっているの？ー
8	戸田 省吾	24	大津市民病院 医療技術局長・呼吸器外科 部長 医師	タバコを吸ったらいけないの？ ー肺がん手術の裏話ー
9	若林 常夫	27	阪急電鉄株式会社 常務取締役	阪急電鉄〜走り続けた101年の軌跡〜
10	伊津野和行	27	立命館大学 理工学部 都市システム工学科 教授	自然災害について考えよう
11	美濃部五三男	30	獣医師 小動物臨床・動物病院院長	人と動物の絆（HAB）を知っていますか？ 犬の言葉を知ろう
12	岸本 正文	30	大阪府立中河内救命救急センター副所長 医師	救急医ってどんな仕事？
13	前田 憲	35	ドラム奏者・ドラム講師・音楽事務所経営	ノリのいいリズムを、科学する リズム感は、持って生まれたものではない！
14	久田 哲也	38	防衛医科大学校 衛生学公衆衛生学講座 助教 医師／循環器内科	臨床医から基礎医学研究者まで 〜ベッドサイドから実験ベンチまで〜
15	関本 博充	42	潜水艦「いそしお」副長 兼 航海長 海上自衛官	「ジェイタイ」って、なに？ 〜東日本大震災でクローズアップされた組織〜
16	月田 有香	49	女優 心理カウンセラー 会社経営	「ドラマ」の授業を受けてみよう！ 〜インプロ（即興劇）を通して、「YES AND」の 心＝ポジティブコミュニケーションを知る〜

や進路を考える機会になっ
てほしい。
③子どもたちに自分のいる
学校に誇りと自信を持た
せたい。
④池田から元気で明るいニ
ュースを発信したい。
⑤開かれた学校にしたい。
学校だけでなく、池田
の地域の人・PTA・卒
業生・OB教職員などい
ろいろな人と交流し育っ

てほしい。
⑥附属学校存続のため、池
田附中の存在をアピール
する特色の一つとしたい。
………
今回の授業でも、「附中っ
ていい学校なんだ！」「附
中にはこんな先輩がいるん
だ！」「附中や先輩を自慢
したくなった。」「将来、附
中に戻ってきて、先輩の授
業をやるぞ！」「こんな言葉

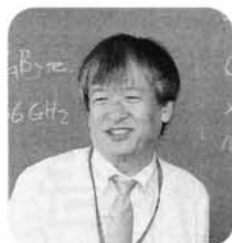
が子どもたちから届いてい
ます。後輩たちは、自主・
自律の精神を持って挑戦し
続ける先輩との交流から、
たくさんの生きる力をいた
だいたようです。
………
講師未体験の卒業生の皆
さま、あなたも母校で教壇
に立ってみませんか。
（元教員・阜城会顧問・
山内啓子）



微生物とよい「お付き合ひ」
をしますか?
長澤 瞳(65期2A)
微生物が自然界や人の体の中に想像以上に莫大な規模で住んでいることやその増えるスピードにびっくりしました。
私たちの生活にとっても関わっていることは少し知っていましたが、微生物に守ってもらっていることは予想外で、すごいなと思いました。私たちよりずっと体が小さい分、様々な能力を備えていて、私たち以上にたくましく生きている微生物は、とても不思議でおもしろい生き物だと思いました。



4 小林 修先生



7 味春 夏夫先生



6 玉川 俊哉先生

災害時のメンタルヘルス
岐阜県精神福祉センター所長 岐阜県知的障害者更生相談所長 精神科医
24期 丹羽 伸也氏
山内先生はじめ多くのスタッフに支えられてこそ出来る有意義な取り組みであると卒業生の一人として母校の取り組みを誇りに思っておりましたところ、講演の依頼を受け、喜んで参加させていただくこととなりました。
お話をさせていただいて特に印象深かったのは、後輩諸君の曇りのない目です。



5 丹羽 伸也先生



10 伊津野和行先生

附中生の皆さん、人の出会いは大切に、志大く、自らの価値観を語れる、社会に役立つ人間を目指して頑張ってください。

担任で地理を担当されていた中井稔先生が、授業そっちのけで常に阪急の話をされていたことを懐かしく思い出します。今私が阪急で働いているのもそれがひとつのきっかけになっているのかも。先生の偉大さを今更ながらに実感しているところです。

走り続けた101年の軌跡
阪急電鉄株式会社
常務取締役
27期 若林 常夫氏



9 若林 常夫先生



8 戸田 省吾先生



12 岸本 正文先生

救急医ってどんな仕事
上島 広大(64期3D)
僕は救命医療という仕事に興味があり、ドラマやドキュメンタリー番組などをよく観ますが、具体的に救急医とはどのような仕事で



14 久田 哲也先生



13 前田 憲先生



犬の言葉を知らう

糸井理彩(64期3C)

口をあけてハアハアと息をしたり、あくびをしたり、鼻をなめているといったよく見る光景においても、犬はメッセージを発していることを知ってびっくりしました。

また動物にもしつけをして社会性を身につけることが大事ということを知り、人間も他の動物も同じなんだなあと思いました。

今の日本に必要な医療とはどんなものかといったことはあまり知りませんでした。今回の授業を通して、現在の日本の救命医療の仕組みを学ぶとともに、救急医という仕事の尊さ、未来の日本に求められる医療の形といったことを強く感じました。僕も勉強して人の命を救えるような仕事に就きたいと思います。楽しいお話を本当に有難うございました。



11 美濃部五三男先生



16 月田 有香先生

附中での時間は将来にわたって貴重だということを伝えたいと考えました。後輩に接して、予想以上に、目的や目標を持って学んでいることを実感しました。諸先輩方が築いてこられた附中の精神は、先生方の教育と生徒の力でより強固なものになっていました。これは、生徒に代々受け継がれてきたものと、諸先輩方が講師として母校で後輩に話されてきた賜物と感じております。

「ジエイタイ」ってなに?

潜水艦「いそしお」副長兼航海長 海上自衛官
42期 関本 博充氏



15 関本 博充先生

年次活動報告

2期生

淡路島、徳島 一泊旅行

2期生の同窓会さつき会は毎年集まって小旅行などを行っています。今年も一泊できる有志の人達に限られましたが、12月の6日、7日の両日、淡路島と徳島への旅を楽しみました。

参加者は男子8名、女子9名計17名で、東京から6名、名古屋から1名、アメリカから1名、地方から9名と盛会でした。

6期生

同期会開催

平成23年3月17日、阪急ランドビル17階の関西文化サロンで同期会を開きました。

数年前から3クラス合同の同期会を開くことにしましたが、前回の集まり(平成19年)から日が経つのを思い出し、急遽開くことにしましたら、懐かしい顔が40名集まりました。

あと3年で卒業60周年という年齢ですが顔を合わせるとすぐに話の弾むのが嬉しいですね。それでも入院して来れない出席予定者が何人かいたのが残念です。今後はもう少し頻回に集まろうとの意見が多かったです。(記 梶山泰男)



お互い喜寿を過ぎた後期高齢者ですが、皆元気で、集まれば、まるで小、中学生の団体旅行のように賑やかで、やや世話の焼ける面もありますが、極めて楽しい旅行でした。



13期生

ミニ同窓会

11月12日に例年通り、テニス・栢本(新井)さんのオペラ鑑賞・夕食会と続く、ミニ同窓会が開催されました。(記 正岡 哲)



淡路島の少々高級なホテルでゆっくりとくつろぎ、御馳走を食べ、渦潮観潮クルージングを楽しみ、翌日は徳島へ渡って大塚美術館を鑑賞しました。たった二日間ですが、旧交をあたため、お互いに元気を保って再会することを約束して別れを惜しみまし。(記 松本淳一郎)

9期生

同窓会の報告

2年半ぶりに平成23年11月20日(日)の午後5時より、大阪梅田の新阪急ホテルにて、9期生の同窓会を開催しました。今年はアラウンド「古稀」の年齢になりましたので、「アラコキ」の会ということで集まりました。人数はちよつと少な目でしたが、卒業以来の出席者や、ブラジル在住でまたま帰国していた岸田君も加わり、いろいろ



3期生

60年振りに参加の友を迎えて

6月6日、7日の両日、玉田篤子(藤井)さん、森田真理子(峰村)さん、岩見佳代(山本)さん60年振りの3人と共に、26名が奈良に集合しました。そんなにも年月が、通り過ぎたなんて、考えられない思いを抱き乍らの再会です。でも兄弟の如く、打ち

松村先生はお元気で、皆が先生を囲んで、楽しい昔の話に花が咲きました。一次会、二次会、三次会と夜のふけるまで時間も忘れて、再会を喜びました。次回は平成25年(2013年)4月に皐城会総会後に同期同窓会を開催することになっています。(記 正岡 哲)



31期生

12月30日

12月30日、例年通り附中31期中心の忘年会が開催されました。場所は、「うかじ家 心斎橋店」。

元阪神タイガース平下選手のお店で、三元交配種沖縄島豚「うかじ豚」のしゃぶしゃぶ鍋は、甘くコクがあり灰汁が出ないという逸品でした。(値段もリーズナブルでした。よろしければ皆様も利用してあげて下さい)今回もその日三件の附中忘年会をハンゴされた、前教頭の石田晶大恩師も参加され、和やかにかつ盛会裏に終了しました。私は同会にはほぼ毎年出席し、恥ずかしながら場をお騒がせしているのですが、毎年それも22年連続で、黙々と一人で幹事をこなしておられる荒堀善文氏には頭が下がります。いつもほんとうにありがとうございます。(記 加藤正明)

同会は今年もおそらく、いや間違いない、彼の仕切りで12月30日夕刻より開催されます。(勝手を申してすみません)関係者各位は、特に石田先生と31期の皆さんは、今からスケジュールを空けておいて下さい。私はずっと先までその日は空けております。(記 田中邦典)



51期生

51期生同窓会を開催しました

「皐城会総会後、51期生は、梅田東通り商店街のカンパニーというお店で同窓会を開催しました。新年度が始まったばかりでお忙しい中、上原先生と丹松先生が同窓会に参加して下さいました。卒業後初めて再会した人がいたり、私たちが在学中の担任だった上原先生が、現在、附中の教頭先生を務めておられる話で盛り上がり、とても附中の雰囲気は良いものだなと思いました。

51期生の皆さん、次回の同窓会にも是非参加下さい。(記 片山裕介)

0期生

ミニ同窓会

4月10日の皐城会総会

と一瞬思った。でも生きています。だからこの同窓会に絶対来ようと思った。この

第30回東京皇城会総会



東京皇城会は、故田中耕三先生のご熱意と、多くの諸先輩方のご苦勞により、附同窓会・東京支部として昭和57年に第一回総会が開催されて以降、毎年11月に開催を継続し、昨年11月20日(日)に節目となる30周年記念総会が東京ガーデンパレスにて開催されました。母校から山川正信学校長・上原昭三副校長、恩師から松村直行先生・直原宏明先生・林士朗先生・石田晶大先生・田中龍三先生・西岡(旧姓秋丸)美穂先生、皇城会本部から松本淳一郎会長、そして元東京皇城会会長として2期坂井靖男初代会長から14期藤木豊14代会長まで8名の元会長はじめ、多くの卒業生の方々に遠方からも参加頂き、総勢101名で盛大に開催されました。49期月田夕香さんの総合同会で16期前谷宗扶現会長から、30年間の総会出席状況や今回の期別参加状況などと共に、現状の課題も紹介がありました。また、30周年記念事業の母校への



附中卒業50周年 記念同窓会

私達が懐かしい附中を卒業して、早50年がたちました。そして、恩師の松村直行先生をお招きして、リーガロイヤルホテルで、平成23年7月2日に卒業50周年記念同窓会が開催されました。



布、次回総会でも配布予定)について、多くの皆様から頂いた記念募金、記念誌協賛広告についてのお礼とともに報告がありました。



30周年記念植樹(今春実施予定)と30周年記念誌発行(参加者に配



30期生

ミニ同窓会

4月10日の皇城会総会後、樋口先生、松田先生(共に体育)、小山先生(地理)にも参加いただき、30期会と称して17名で夕食にフランス料理をおいしくいただきました。2次会はバーでお酒を飲みながらの、近況報告。一昨年末に柴田(旧姓馬場)美喜さんが高校生の1人娘を残し急逝されたことや東北震災の話など胸に詰まる話題も多かったのですが、関東から駆けつけてくれた石田君がとても素敵な事を言っていました。「俺さー大震災のすごい揺れの中でもう死ぬかも

小中高の垣根を超える存在を目指したいとの事務局案の紹介など、36期高瀬雅也幹事、48期池辺愛さん(モエヤン)の息の合った進行でした。33期鳥井信宏(サントリ)さん協賛のビールやウイスキー、ワインなどを飲み、27期今津彰純幹事が苦勞して持込んだローストビーフを頂きながら各テーブルで楽しい会話がはずみまわりました。また、テーブル討議のテーマとして、東西皇城会の協業・卒業生同志の交流促進・卒業生と現役生との交流促進・SNSの活用・活動資金の確保・60才以上世代ができること・東京皇城会の運営方法、から各自が選んでテーマ別に席替えし、各テーブルで真剣に討議してリーダーからその結果を発表するなど、会場全体が一つになって大いに盛り上がりました。また、昨年末のレコード大賞で新人賞(伊藤美裕・六本

と一瞬思った。でも生きている。だからこの同窓会に絶対来ようと思った。この機会を逃したら今度いつ皆と会えるかわからないから。」附高からの参加の櫻井(旧姓菊池)純理さんも附中の皆とすっかり仲良くなり大いに盛り上りました。また松田先生はお手製のおいしいケーキをお土産にと作ってきてくださいました。先生ご馳走様でした。



そして松村先生から、先生が自ら「我が人生の集大成」とおっしゃる『童謡・唱歌でたどる音楽教科書のおゆみ(明治・大正・昭和初中期)』のご本の出版についてご紹介頂きました。フィナーレは恒例の「みんなで歌おう」、今年も20



(詳細は東京皇城会のHPをご覧ください)

期茂木眞理子さんのピアノ伴奏で、故郷に続き、校歌を全員で歌い、次回2012年11月3日(土)東京ガーデンパレス(予定)で東京皇城会の新たな出発を企画推進していくことを確認しました。そして、15期安藤宏基(日清食品)さん協賛のカップヌードル等詰合せセットをお土産に頂いて散会しました。(東京皇城会会長 16期 前谷宗扶)

だなど思いました。51期生の皆さん、次回の同窓会にも是非ご参加下さい。(記 片山裕介)

テーマ

二度の人生、
めいっぱい楽しまなきや!

昨年に引き続き今年も女性ゲストを迎えます。元氣いっぱい中学12期の末広真樹子さんです。

場し、芸能界で一世風靡の人氣を獲得しました。その後はマスコミ、政治、経済の世界で活躍する傍ら、絵画、陶芸、ゴルフ、ボランティア活動と、これでもかという位マルチに生活をエ

エンジョイ, 人生♡

すえひろ まきこ
末広 真樹子 さん

- ＜プロフィール＞
- ・1944年 大阪に生まれる
 - ・精華小学校、大阪学芸大学附属池田中学・高校卒業、同志社大学英文科卒
 - ・在学中にDJオーディション合格、日曜電リクのレギュラーを務める
 - ・NHK大阪放送劇団にて、俳優の基礎訓練後、研究生となる
 - ・1970年 大阪万博でTVレポーターの草分けとしてデビュー。半年間、毎日万博会場のレポートをテレビで生放送する
 - ・モーニングショーのTV司会、女優、エッセイスト、画家、陶芸などマルチに活躍、二科展に十年連続入選
 - ・1986年 「天むす・すえひろ」を創業 現在26年目を迎える
 - ・1995年 参議院議員 6年間務める
 - ・2010年 ボランティア事業「キリンさんのおうち」を設立 母と子の支援を行う
 - ・所属団体：日本バンクラブ、日本美術家連盟、大阪商工会議所
 - ・2年に1回のペースでリーガロイヤルホテルのギャラリーで個展を開く（主に水彩画）

平成23年度
皇城会総会の報告

平成23年4月10日(日) 午後2時～4時30分 ホテルグランビア大阪

女性が主役の皇城会パーティー、昨年はホテルグランビア大阪で賑やかに華やかに開催できました。

一昨年は新しい試みとして、担当幹事を0期の幹事と決めて、会場もこれまでの池田市会場から、初めてリーガロイヤルホテルに会場を変更し、平成22年度の総会は大好評を博しました。

平成23年度もこの新しい試みを継承して、担当幹事は1の期として、会場をホテルグランビア大阪に変更。そして会費の縮減を意図して、これまでの宴会型の飲食中心から、午後のティーパーティーにして、女性が主役という初めての趣向の皇城会となりました。

定刻の午後2時からの1部の総会では、2期の松本淳一郎会長の挨拶、山川正

ンジョイされています。どんな話が飛び出してくるか楽しみです。重苦しいムードが漂う昨今の世の中、いつも前向きに楽しみながら生きる彼女の生きざまが、皆さんを元気にしてくれるでしょう。

老若男女を明るくさせてくれる末広真樹子さんの講演に全員集合!!

信校長の来賓挨拶のあと、無事に議案審議を終えて、第二部のアフタヌーン・パーティーへ。

二部は素晴らしい女性お二人をゲストスピーカーに迎えた軽食とお茶の会です。11期から津田塾大学学長の飯野正子さん、当時の担任の藤原喜代子先生から紹介のあと、「女性がいつそう輝くために」と題して、女性のエンパワーメントについて、物静かな語り口の中に、ご自身の経験を交えて、逞しく力強いスピーチが、



る賞をいくつも受賞されています。会場内を移動しながら若い後輩たちの心を驚づかみにするような迫力満点の講演に、圧倒されました。



(小山)紫緒先生からのご紹介で登壇。化学生命工学という最先端の研究領域で高い成果を上げて、名だた

皇城会第63期決算報告
貸借対照表の要旨
(平成23年12月31日)

科目	金額(千円)
流動資産	4,075
固定資産	18,523
基本財産	7,168
特定資産	11,354
合計	22,598
負債	0
正味財産	22,598
合計	22,598

収支決算報告書の要旨
(自 平成23年1月1日
至 平成23年12月31日)

科目	金額(千円)
収入の部	6,195
入会金	785
総会収入	465
その他の収入	1,074
前期繰越収支差額	3,871
支出の部	6,195
総会費	542
会報費	1,041
支出補助金	400
新入会費	7
新入会員記念品費	32
雑費	54
次期繰越収支差額	4,120



(報告11期 川部重臣)



当日の司会進行は、NHK FMのキャスターを務めている49期の青柳万美さんで、凛とした言葉が大きな会場を見事にコントロールしていました。

ご協力ありがとうございました

平成23年度 阜城会総会出席者&賛助金寄付者名
 <皆様のご芳志に厚く御礼申し上げます。>

[23・1・1～
 23・12・31]
 [314名]

松村直行先生 出版記念祝賀会

出版記念祝



私は大学を卒業後、附
 中では12年間、附高では
 大学との併任を含めて二
 十年半、音楽教育に携わっ
 て参りました。
 この度わが人生最後の
 著書『童謡・唱歌でたど
 る音楽教科書の歩み』と
 いう題名に似合ね教育
 法規まみれの著書を出版

し、その出版記念祝賀会
 には、松本淳一郎阜城会
 会長や三期生・野原明先
 生はじめ、二百数十名参
 加いただき、附中での教
 え子・松田昌、小栗純一、
 茂木真理子、田中龍三、
 宇野由美、鍋島正子、安
 本雅子さんや、大学院で
 の教え子・閣下さんが
 演奏をしてくれ、他にた
 くさんの附属卒業生たち
 が会の準備などに尽力い
 ただいて、大変楽しいパ
 ティーができましたこと
 には、深く感謝しており
 ます。これで、自分とし
 ては悔いなき人生の一つ
 の区切りができました。
 有難うございました。



これからも目標を抱いて
 頑張ります。みなさんも
 頑張ってください。
 (附属池田中学校元教諭・
 大阪教育大学名誉教授
 松村直行)

「先輩の授業を受けよう！」 平成24年度 講師募集要項

阜城会では講師をしていただける卒業生を広く募集して
 います。講師をお願いできませんか。また、阜城会員の中
 でご存知の方を講師に推薦ください。この素晴らしい授業
 が今後も続けられますようにご協力をお願いします。

詳細は阜城会ホームページ (<http://kojokai.com>) を
 ご覧ください。

問い合わせ・登録・推薦は、

阜城会事務局 (office@kojokai.com) まで。改めて担
 当・山内啓子(旧教員)から、ご連絡させていただきます。

授業の概要

1. 日 時 平成24年9月15日(土) 予定
午後2時から60分～90分程度
2. 場 所 大阪教育大学附属池田中学校
3. 募集講師数 16名程度(阜城会普通会員であること)
4. 受講生 大阪教育大学附属池田中学校の生徒
全学年混合で各講座30名程度
(学年、人数の指定も可能)
5. 使用可能教室 普通教室、特別教室、体育館等
6. 締 切 り 平成24年5月31日(木)
7. そ の 他 応募多数、テーマ重複の場合は選考さ
せていただきます。

学校は今

◆今年、クラブの活躍が目立ちます。

この数年、退職・転勤等で教員がかなり入れ替わり、若い先生が増えました。平均年齢が37歳と3附属の中でダントツに若くなっています。

本校の歴史を知る人が少なくなるのは寂しいですが、その分「熱い思い」で生徒たちに関わる先生の姿が目立ちます。そのせいでしょいか、今年はクラブの活躍が目立ちます。



↑部活動

↓バックネット



ソフトボール部が初めて豊能大会で準優勝し府の大会に出場したり、野球部・サッカー部・陸上部・バレー部……全ての部が勝ち進んでいたりします。中には、全国大会出場をねらえる(陸上部)ような選手もいるとか。

◆バックネット

の改修工事が始まります。数年前に黒いやわらかい土が入り本格的な野球練習ができるようになったグラウンドですが、このたび念願のバックネットの改修が決まりました。今回はバックネットだけでなく、周囲の防球ネットも高いものにつけ換わるようです。ボールが近くの畑や草むらに飛び近隣にご迷惑をおかけすることも少し少なくなるのではと思っています。それに、ボール探しを命じられて苦労していた下級生ももっと練習に集中でき、チーム力が上がるのではないでしょう。

(記 上原昭三 副校長)

恩師便り ⑪

遠い附中



今年も、発送した年賀状のいくつかに「附中も遠くなりました」と、添え書きをするほどに、私にとって、附属池田中学校は遠い思い出の中にあります。しかし、『忘れるにまかせるといことが、結局最も美しく思い出すということなのだ。』という川端康成の初期の作品の中にある言葉を、附属中学に絡めて実感しているこの頃でもありません。

古屋敷 侃先生

在職 昭和37年4月
昭和57年3月

突、工場の外見をもつ体育館：そこが、かつて軍需工場の跡である。ということを如実に物語っていました。

現在の本館が、私が赴任して四年目に、旧管理棟跡に新築されました。これを機に、ハード面は、私の在任中、昭和四十年代から、五十年代前半にかけて、体育館やプールなどが整備されて、ほぼ現在の姿になりました。

この時期には、記念樹植栽も多く行われ、コブシ、ケヤキ、サクラなどは、今も亭々と育っています。

ハード面だけでなく、ソフト面でも、附属特有のユニークな教育活動に対して、『いかに鋭心起さざるべき』と、切磋琢磨する風潮が、師弟ともに、校内に漲っていました。

私が赴任した当初は、三年生が二学級で、全校八学級の小規模校でした。現在のようには各学年四学級編成が完成したのは、昭和四十五年度でした。特に、四学級になるまでの国語科は、全学年、全学級を担当し、しかも教科書は三冊ということで、週二十四時間の指導教材の事前研究に没頭せざるを得なかったのが、ひどく印象に残っています。これで随分鍛えられました。それでも、全校の生徒に授業を通して接することができた、この時期は、とても充実していました。

教科指導だけでなく、楽しかったクラブ指導でも、食らいつくような生徒たちの若々しいあの顔、その顔が生き生きと浮かびます。

二十年間の附中勤務を終え、池田市に転任したのは、昭和五十七年の春です。行政の部課長や学校長で十年間苦闘した後、故佐治敬三氏のご招請を受けて、雲雀ヶ丘学園中学校に赴任し、九年間を勤めました。この間、PTAなどで、附中の教え子たちに随分と援けられました。紙面を通してお礼を言います。

四十五年の国・公・私立の教職経験の中で、附中の思い出は、あれも、これも、美しいものばかりが、とめどなく去来します。

阜城会会報10号の訂正

8面の新宮氏の記事の産経新聞紙面では、見出しが「地球の素晴らしき表現」でした。お詫びして訂正させていただきます。

〈会報作成〉

アドバイザー

石田晶夫先生、山内啓子先生(旧教官)

会報委員

小林 修(20期)、美濃部五三男(30期)

制作協力者

上原昭三副校長

永田浩章氏(30期)、畑中幸子氏(30期)、

稲村早希子氏(34期)、住亜希子氏(37期)

御協力感謝いたします。

編集・校正・印刷 野崎印刷所

松村先生、素晴らしい時間を有り難うございました。

今年の1月8日に、大阪梅田の新阪急ホテル「紫の間」で、本校旧教官で校長も勤められた松村直行先生の出版記念祝賀会が開かれました。松村先生は私が昭和39年に附属池田中学校に19期生として入学したときの担任の先生で、私を音楽の世界に導いて下さった先生でもいらっしやいます。

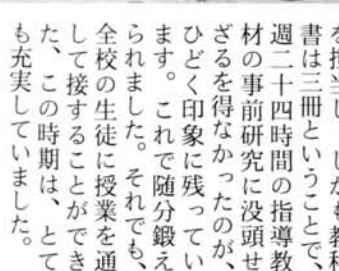
今回出版された『童謡・唱歌でたどる音楽教科書の歩み』は、音楽教育の分野においては学術的な価値が高く、また、音楽を愛好する人にとっても大変興味深く読める名著です。祝賀会のご挨拶の中で松村先生がおっしゃっていたように、平成16年の10月に、大阪教育大学附属図書館主催で行われた「第9回昔の教科書展」音楽の巻「教育法規に基づいた教科書の変遷」で記念講演のために準備された、長年にわたる先生のご研究の成果および資料が基になっています。その年はちょうど私が附属池田中学校教諭から、大阪教育大学音楽教育講座の助教として配置転換となった年で、私も記念講演の中で昔の教科書に記載された曲を演奏するメンバーに加えていただきました。

した。(その時の様子は大学のホームページに載せられています。下記参照) そのこともあって、今回の祝賀会では司会をさせていただきました。200名を超える様々な所属の方々が参加され、松村先生を囲んで一つの世界になったことは、一重に松村先生とご家族のお人柄があつたことだと、司会をさせていただきながら感じた次第です。

(19期生、附属池田中学校元教諭、大阪教育大学教授、大阪教育大学附属平野中学校校長 田中龍三)



私が、公立中学高から、附属中学校へ着任したのは、昭和三十七年四月。そこには、中庭に聳える巨大な煙



突、工場の外見をもつ体育館：そこが、かつて軍需工場の跡である。ということを如実に物語っていました。

〈会報作成〉

アドバイザー

石田晶夫先生、山内啓子先生(旧教官)

会報委員

小林 修(20期)、美濃部五三男(30期)

制作協力者

上原昭三副校長

永田浩章氏(30期)、畑中幸子氏(30期)、

稲村早希子氏(34期)、住亜希子氏(37期)

御協力感謝いたします。

編集・校正・印刷 野崎印刷所